

**乙訓圏域障がい者自立支援協議会**  
**令和3年度 第2回人材確保育成部会 会議録**

日時 令和3年9月7日(火) 10:00~12:00

場所 オンライン開催

出席者 13名

乙訓障がい者基幹相談支援センター、乙訓ひまわり園地域連携室、向日市社協障がい者地域生活支援センター、こらぼねっと京都、大山崎町社会福祉協議会、乙訓若竹苑、障がい福祉センターあらくさ、障害者支援施設晨光苑、乙訓の里、長岡京市商工会、向日市障がい者支援課、長岡京市障がい福祉課、乙訓保健所福祉課

欠席者 1名

大山崎町福祉課

配布資料

- ・次第
- ・記事 「介護はかっこいい」
- ・乙訓圏域新任職員連続講座チラシとアンケート

議事の流れ

1 学習会 「乙訓モデル」(乙訓圏域でのインターンシップの受け入れの仕組づくり)の試案に向けて

講師：華頂短期大学幼児教育学科 武田康晴 教授

2 乙訓圏域新任職員連続講座

事務局 ・今年度から人材確保・育成部会ができたので乙訓圏域新任職員講座をいっしょにやることになった。

・現在、応募が12人。コロナ禍なので20人以下であれば対面でできるかと思うが、どうしようかと思っている。緊急事態宣言は9月末まで延長される報道もあるので、オンラインでの研修とすればもう少し応募があるのではないかと思う。ご意見いただきたい。

・今回はQRコードからアンケートを書き込む形にしてまとめが作成しやすいようにしている。この確認もお願いしたい。

委員

・まだ申し込んでいないが、受講させたいと思う職員はいる。オンラインの方がありがたい。  
・新任職員とあるが、中途採用で年齢が高くてもいいのだろうか。

部会長

・新任職員とあるが入職して何年ということなのでそれほど難しく考えることはないと思う。

- 委員 ・申し込みをしたいし、オンラインでお願いしたい。
- 部会長 ・逆にオンラインだと職員を出しにくい事業所はあるだろうか。特に問題がなければ完全オンラインでいいだろうか。
- 事務局 ・オンラインで行うこととして、もう一度、案内を送ろうと思う。
- 部会長 ・当日、受付等もいらなくなるが、部会でのお手伝いは何かあるだろうか。
- 事務局 ・講師の先生には乙福に来ていただき配信したいので設定に数人来ていただきたい。  
・アンケートの集約をお願いしたい。講師にお返しするものと部会全体で扱うものに分けて作成したい。
- 部会長 ・お手伝いについてはまたこちらから指名させていただきたい。  
・アンケートの様式もこれでいいだろうか。よければこれにしたい。

### 3 その他

- 部会長 ・商工会が3月に就職フェアをされるだろうということで、そこに部会から出展してみてもどうかという話があった。また事務局から詳細を伺ってほしい。  
・障がい者施設への就職に興味をもっといただくために配布するチラシを作りたい。チラシの参考やイメージを共有したい。次年度、乙訓モデルの広報にもつなげるようなチラシにしたい。
- 事務局 ・今日の武田先生からのお話しで課題もたくさんあったが、まずはできるところからやっていきたい。  
・昨日小林委員に、商工会でコロナ前にバンビオでされていた「乙訓で働きたい人のための就職フェア」を今年度はされるのかを伺った。ハローワークと調整し、コロナの感染の状況によってどうなるかわからないが今の時点では中止という結論は出ていないとのことだった。  
・アピールするにはパンフレットなど紙ベースのものがいいと思われ、次年度の予算計上のため、友愛印刷でA4両面カラー200枚の見積りをしている。  
・2月か3月にフェアがあればそこにも間に合わせたいので、一旦両面カラー印刷で作って、来場者に配りたい。対象者は乙訓で働きたい一般の方になるので、乙訓の障がい福祉事業所として企業とならぶ形になる。一つの例として来年につながるものとして作り上げたい。  
・表紙は、今回みなさんに配信している資料を見ていただいて、魅力発信をインパクトのあるものにしてはどうかと思う。ネガティブではなくポジティブなイメージにしたい。今までと角度を変えてみんなといっしょにやろう、おいでよ、などインパクトのあるものがあるといい。若い人で仕事に対しておもしろさを発見しだした方で企画をしてもらえないだろうか。各事業所でどなたか数人をあげてもらえると嬉しい。  
・裏側は、まずは部会委員の事業所でそれぞれのアピールをしていただき、地図など簡単に書いて、そこに例えば3分ぐらいの動画を事業所で作成してQRコードを貼って、見学やインターンシップにつながるパンフレットを作りたい。動画はアムービーなどを使って若い方で可能な方に作っていただきたい。いかがだろうか。  
・チラシとは別に、各事業所がどんなインターンシップをされているのかの交流も部会でしていきたい。
- 部会長 ・3月の商工会のフェアに向けての準備と京都府の就職フェアは必ず開催されるのでそこで配

布することも可能なのでチラシを作りたい。チラシのデザインを含めて企画を若い人の音頭と  
りを誰かしていただきたい。社協はPR動画は得意なようですが、どうですか。

委員 ・僕は関わってなくて、もう少し若い職員が活発にやっている。

部会長 ・そういう方と一緒に他事業所の若手を巻き込んで作ることはできないだろうか。

委員 ・話の持っていくかたとしては良いと思う。

・私の事業所は障がい部分が小さいので、どの資格層にターゲットを絞るかによって出てもら  
う職員が変わると思う。

部会長 ・障がいの部会ではあるので大山崎社協だけではなく、あらぐさもいっしょにどうだろうか。

委員 ・苦手だが、仕事はふってください。

部会長 ・あらぐさはいろんなところでおしゃれなことをされているので、委員から若手に声をかけて  
もらってチラシ企画チームの立ち上げの音頭をとっていただきたい。

委員 ・輝いている職員の方をアピールする方法があると思うが、障がいのある方で魅力的な方はたく  
さんいらっしゃると思うのでそういった方をアピールするのもひとつかなと思う。社会人であ  
れば、国際経験がある人はどうか。みんな違うのが当たり前という経験を持っているように思う  
ので、障がい者支援の仕事も勧めることができるのではないか。

・私は、障がい者支援課で、iPhoneでアムービー撮って編集してたくさんアップしているの  
で、何かあれば言ってほしい。

事務局 ・障がいのある方の動画は、本人や親御さんの了解があると思うので、それがOKなら事業所  
のアピールの場にもなり良いと思う。たった3分でのアピールとなるのでハードルが高いが、最  
初の一步なので1回作ってみましょう。

部会長 ・武田先生から「状況と内容」とお話があったが、状況の部分を整理していくことが最初のミッ  
ションだと思うのでそれに向けて本格的に動き出したい。

・学習会で考えさせられるポイントをたくさんもらったので「乙訓モデル」をつめていく部分  
と、広報の役割分担をさせてもらって、今後の進め方を部会長と副部会長事務局とで打ち合わせ  
をしてご依頼させていただく形でいきたい。

・次回 11月9日午後

事務局 ・今日の学習会の内容を受けて、今後部会としてどのように動いていくかは武田先生にご報告  
したい。ちらしができれば大学のキャリアセンターなど訪問させていただきたいと思う。

武田教授 ・京都市私立保育連盟が京都市はぐくみ局といっしょに就職ガイダンスをしている。卒業生で  
今現場で働いている若手の方3人ぐらいと園長先生が司会になってパネルディスカッションで  
実践報告をしている。実習指導の中で現場職員の話が聞けて、大学を卒業した1、3、5年目の  
人に来てもらうので学生達に好評である。学校がほしいのは先輩達の声を直接聞く機会だと思  
う。障がいがある方が何人か来て実習前に話をしてくれると乙訓の宣伝にもなる。ムービーでも  
いいがリアルにそれをやらしてもらえたらどこの学校もありがたいと思う。それをルートにして  
もし興味があればインターンシップへとすると「内容」につながる「状況」の整えになる。詳し  
い資料もお渡しできるのでそんなバックアップもしたいと思う。

事務局 ・ありがとうございます。(一同拍手)では、これで第2回の部会を終わりたい。